

これらの院兒、殊には貧家不良の子供のことゝて、其保育教養上の苦心の一通りや二通りでないことも、大抵想像せられる、因に、此夏、堺市で、全國の孤兒院の教師のために講習會が開かれるといふことを聞いた。

餘り長くなるから 大阪みやげは一先之で擱筆する。

(完)

### 二葉幼稚園

野口幽香子齋藤峯子兩氏の經營せられ居る同園は兩氏及同園保姆の熱心なる盡力の結果、追々好況に向ひつゝありとのこと、左に抜抄する同園報告に由りて、從來の状況の概略を紹介すべし

現在の状況

建物 家は相變らず去年の儘で狭くて、都合が悪

くてとても、永くは續かぬと申ながら二年以上も辛抱致しました、私共の希望を申上げた結果種々御盡力下さつた方がありまして、今春以來非常に有望のお話が二度もありましたが、何れも望は達せず終りました、併しこれからは益々熱心にさがしまして、いつかは喜ばしい新築の出来る日を待つて居ります、いつも願ふ事で御坐いますか適當の地所がありましたらどうか御周旋を願います

### 現在幼児數及父母職業

幼兒數 五十名(男兒 二十八名 女兒 二十二名)

父親の職業

車夫	二十九人	疊職	一人
消防夫	三人	馬丁	一人
指物職	三人	魚賣	一人
小使	一人	菓物屋	一人
左官	一人	電氣工	一人
土方	一人	料理人	一人

大工 一人 代書 一人  
 層屋 一人

母親の内職

洗濯立物 四人 巻煙草 二十二二人  
 ほづきや 一人 髪結 一人  
 雑菓子や 一人 紙屑や手傳 一人  
 教習の掃除人 一人 縫箱 一人  
 幼稚園小使 一人

母親の職業(父なきもの又は私生兒)

髪結 家族四人 洗濯、仕事 家族四人

幼兒及家庭の状況

一、或子供は母親は精神病にて入院し、父親のみにて養育して居ります故幼稚園へよこして置く間には誠に安心して働くことが出来ると喜びます  
 二、或子供は母親が死にましたので、生れた時から全く父の手ばかりで育てました、其子が始めて來ました時にはどうしても座る事が出来ません、漸く座らせたかと思ふと直に足をなげ出しました、此子の父親が病氣になつて働けなかつ

た時は親も子も大層難儀をして居つたそうです  
 それから特別に預けた貯金が卅錢許ありましたからそれを出して親子が四五日助かつたと申事です、爾後此親は毎日幾許かの貯金をかかさず頼むやうになりました、(別項貯金の處を御覽を願ひます) 母親がないものですから着物はよく洗濯はしてありますが、如何にもひどいので、夏になつても單衣もないやうでしたから、皆様から兼て頂いてあつた一つ身の單衣を少しなほして大きくしてやりせしたら、其喜ばましたこと、幼稚園から歸るとちやんと其もの着物ときかへさせますそうです、父親が其子が可愛くて後妻をもらふ事が出来なんだそうです、ばろをきてたべずに居ても其心は此様に美しいのもあります。

三、或子供が餘りに蚤にさされて居りますので、

一寸肩あげの下をわけますとビヨン／＼とび

ます、それからすつかりとつてやりましたが五

十一疋居りました。

四、子供の帯や襦袢には時々虱の居るのが見つか

ります、子供の蚤を見て居りますと『先生何見

てるの虱ですか』と申す。

五、中には家内中監獄に行かぬ者はないといふ家

もあります『かとおさんは今監獄へいつてるの』

など、不審とも思はずいつて居る子供の前途實

に哀れではありませぬか。

六、別項貯金の所に委しく書きますが、五十錢で

も壹圓でもわると思ふと直にわてにします、此

間も夜遅く尋ねて来た母親がありました、春以

來の病人で誠に困るよい薬があるといふ故それ

を買ふ爲に貯金を出してくれと頼みます、いく

らいるのかときけば七十錢あればよいと申す

又ある者は三十錢出してくれ、五十錢出せと又

しても／＼申て参ります。

病兒取扱 いつも變らず土手三番町の木澤敏先生

に施療をして頂きます、御多忙の中殊に少なから

ずお願い致します事に心苦しく、何とか工夫もと

存じますがつい其儘になつて相變らず願つて居り

ます、或子供などはお薬の一月も頂いたのもあ

りますし、或時はおできの出来たもの、咳嗽の出

るもの、など集めて先生がついて御診察を願ひ、

大なき器にお薬を一ぱい頂いて来ておできにつけ

てやつた事もありません、誠に難有い事で、親と共

に喜んで居ります、加藤照啓氏が或時一同を診察

して下さつた事もありません其に話に、定めて粗食

をして居るだらうにどうしてかくも丈夫なのか、貴族の子供などとても及ばぬと申されまして、一同に種痘をして下さいました。

子供が毎日顔を洗ふのや、耳の垢とり、爪きり、などはいつも通り致して居ります。

クリスマス 昨年のクリスマスも一昨年同様非常の盛會で例により生田葵山先生にお話を願ひました、子供も残らず参りましたし、親も姉も赤坊もふばあさんといふ風に、忙がしい暮の日にもかまはずよく参りました、就學した子供も一二の外は参りまして、左なきだに狭い八疊二間に六疊の家、そこへ子供のお客が見える、寄附のお使も来たば寄附の贈物分配が始まる、それは家中一ぱいの人で、大騒ぎに騒げば騒ぐだけ私共は嬉しく過分の贈物にたまげてものいへぬ子供の顔なが

めて嬉しげなる 親の顔、あちこち見くらべては無限の感謝何たる嬉しい事かと幾度か涙をふきました。

三井家は此日の會にいつも非常の同情をよせられますが、此時もまたさまふの贈物、一同にゴム毬と下駄とを贈り綿子ルの切が親子の分をさらすに三尺ばかりづゝ贈りました、其外にお菓子のお古浴衣股引等のいく、女兒は羽根に羽子板、男子は紙鳶に糸、とかやらの贈物どうして子供にはもてませぬ。

此催しが唯子供や親を喜ばせる許りではなく、學校にいつた子供と幼稚園との連絡を保つに大効ある事を見出しました、誰もかゝる有りがたい會に出ぬ人はありませぬ、年々就學兒の数は増しまして一年一度の召集も實は餘程困難の筈ですが、存

外よく集ります、これは永久に幼稚園と關係をたぬ様にする唯一の方便であることを覺りまして喜んで居ります、なるべくならば五六月の候に今一度何とかよき方便もあらはと考へて居ります。三井家よりのお客様が幼稚園の疊の餘りに破れて居るのを御覽になつて急に取つかへてやらうとの事、同家の疊がへと同時すつかり新しくして下さいました、幼稚園は一時見違へる程奇麗になりました。親の會 これは時々致します、時間など定められませぬから夕方と申して置きます、と幼稚園へ来る子供を片手にひつぽつて、背には必ず赤坊をおぶつて居ります、どうしてかくも子供が多いかといつても私は驚きます、此間など暑いのに狭い處へいつばいになります、幼稚園へ来る者だけ一方に

集めて歌でもうたはせて、やがて静にさせて置きましては少しづつ話を致します、此又話が實にむつかしいので、私共の普通用ひます様な言葉では少しもわかりません、私は其爲に余程苦心致しました此頃は充分私のいふ事が皆にわかる様になつたと申事、或時の事私が皆に貯金をすゝめまして貯金の効を説きました、皆はいゝとさいて居りましたからわかつた事と思ふて居りますれば翌日になつて小使に申すには貯金〜とおつしやるがいつ体貯金で何の事かと申しましたそうで、一晚の話も全く無であつた事がわかりがつかり致しました、併しまさか皆がかうではありませんが。五月のお幟や人形の大層いゝのを頂きまして毎年飾ります、今年の五月の事、或母親は子供の迎に参りまして、床の間に飾つてあるりつぽな飾物

を見まして、先生の お子さんのか、又は小使の子供のかと、問ひますから、あれは幼稚園の子供の爲であると答へました、處が母親は涙を流して幼稚園はかくまで親切か、我子の幸運を祈る爲にかゝる用意迄してくれるかと感謝の涙禁じ得なかつたそうです、かくもこちらでは思ひもつかぬ事を喜んでくれるかと思ふと、親切に訪問してやると先生はあらを探しに來るといやる者もあり誠に階級の異なる社會の事情の互に通ぜぬは致し方ないとは申ながら、私共の研究の足らぬ事を毎度感じて居ります。

幼兒の貯金 これは前の報告にも書きました通り五厘づゝ義務貯金をさせます、其代り保育料を五厘に致しまして親の負擔は初の通り毎日壹錢、處が段々勸誘の結果右以外に一錢或は貳錢多きは毎

日五錢づゝ持つて參つて切手の貯金を致します。當年就學の幼兒の貯金は退園の時出して大抵は學用品に費いしました、尙貯金の臺帳は本人に渡しまして今後引續き少しづゝでも貯金する様にと申ししたが、渡ししてしまへば一回にせぬ様で、三十錢五十錢と残つて居るのを何とかかかとか申て全部拂戻の請求に參ります、一ヶ年間の貯金額を試に書いて見ませう。

義務貯金毎日五厘づゝ、

貳十七圓九十五錢

五十人分

最大額一人壹圓貳十四錢

最少額一人十錢(これは新人の子供)

特別貯金(親の隨意に持つて來る分)

十四圓三十五錢

十九人分

夏休廢止の結果及本年の計畫 本園の子供は大き

くなる程悪くなり、休があれば又悪くなります、これは全く家庭のよからぬ爲なので、随分憂ふべき事でありますが、出来るだけそれを防ぎたいと思ひまして、昨年は夏休廢止を計畫致しました、もとより同じ先生では續きませぬから、外に特志の方を頼みましたが、其結果先生の手加減の變りました爲、子供が喜んで参りません、九月から平常の様に復しても、尙喜ばぬ者もあつたり等致しまして、休中に子供が悪くなるのは同じ様に感じました、それでする方では随分骨も折れ、いろ／＼計畫も致しましたが、かゝる有様でしたので本年は又趣向を變へました、それはお休は三週間に致しまして、今迄の先生が代りあつて休を取り、他に助手の方を頼みまして、毎日十二時頃から四時半迄として見ました、子供の家は非常に暑

くもわり狭くて不潔ですから、日中の暑い盛りを幼稚園で、比較的涼しい廣い處で遊ばせて置いたら多分子供の身体の爲にもよからうかといふ考です、先づこれで試みましていけませぬ様なら又工夫致します。

希望 毎年々々同じ希望を繰返します、早く新希望を抱く様になればよろしいがまだ／＼家の出來ませぬ内は外の事へは手を出しません、どうか四谷赤坂牛込邊で貧民の多い地方に二三百坪の地所がほしいのです、やすい貸地が何かでよろしいのです、どうぞ御記憶置き下さつて御盡力を願ひます。

寄附に對する希望 何か新に調べて御寄附下さる方は、少しでもお金の方がよろしいのです、もしかわり合せ等、又御不用品などならば何にも頂

きます、年末クリスマスにはいつも衣類を與へますから、子供の浴衣襦袢股引シャツ足袋靴下下駄等は誠に結構です、大人の物でもよろしい、それ〴〵よい様に致します、状態はこれ迄外側をとりて中〆けを頂きましたが、近頃は外側の紙を鼻ふきに用ひますので、古きもの其儘に頂くのが尙よろしい様になりました、子供に内外をわけさせまして使ひますから、だん〴〵種々と工夫の出来る物で御座います、右の外に辨當箱傘のふる物硯筆墨鉛筆石筆どんな物でもいらぬ物はありませぬ、御寄附下された方は私共の自宅でも幼稚園でもよろしいからお届け下さらば誠に有りがたく、もしお序がない時はおはがきでも給はらば序にとりにさし上ります。

新刊

すみれ

小形の可愛らしい美文雑誌で、甲府市魚町のすみれ會といふ床しい會から出る、地方の雑誌としては、まことにあかぬげのした、見た所、一寸ハイカラ風の雑誌で、中は美しい新體詩や、新派の和歌や、美文で満ちて居る、夫に所々に可愛い挿繪のあるのは殊更嬉しい、この道の友として珍らしく立派なものです(定價十錢月一回)

夜も漸く長くなり候、虫の聲を聞きつゝ、燈火に對して播くには以てこいの時節と相なり候。次號よりは、精々新刊を御紹介可致と存候、敬具

會報

入會

- 麴町區元園町一ノ二七 長澤 さく
- 宮城縣仙臺市柳町三十九 右紹介野村すき
- 宮城縣仙臺市北五雷町十九 右紹介立花せん
- 淺草區松濤町四德風幼稚園代表者 稻垣 實 秀
- 宮城縣仙臺市北五雷町十九 右紹介和田くら
- 宮城縣末無掃部町十二 片山 きわ
- 宮城縣宮城宮城郡原ノ町小田原三十九 右紹介立花せん
- 右紹介立花せん 中村 しん
- 右紹介立花せん 菅野 かし